opusdei.org

36. 何故イエスは死 刑に処せられたので すか?

ナザレのイエスという人物は その宣教が広がるにつれて非 常に議論の的になってきまし た。

2016/09/28

ナザレのイエスという人物はその宣教が広がるにつれて非常に議論の的になってきました。エルサレムの宗教権力者たちはイエスが過越しの祭りにガリレアにやってきた時に民衆

たちに引き起こした動揺に不安感を 示しました。ローマ帝国の支配者た ちも同様に不安感を示しました。と いうのも、ユダヤ人の独自性を訴え てきた地元の指導者の指導のもとに 引き起こされたローマ帝国の占領に 対する反乱が時々発生したため、

〈神の王国〉の到来に備えよと語るこの宗教指導者の到着の知らせを耳にした人々は、心穏やかではありませんでした。それぞれの動機は違ってもいずれの人たちもイエスに対して警戒していました。

拘束されたイエスのケースは衆議所に於いて取り調べられました。それは、後にミシュナー(サンヘドリン IV,1)で取り上げられることになきを伴った正式の手続きで取り扱われました。とりおまずに取り扱われました。とりおきで要求されてい済むもので済むもので済むもで済むものがら、それは教えに関してがりいた訴えや疑惑を検証するため

に私宅での尋問でした。具体的に は、ユダヤ教神殿に対するイエスの 批判的な姿勢に対して、言葉と態度 で挑発するその人物を覆っている救 世主のオーラ、そしてなかんずく、 自分は神の権威を持っていると主張 している点についてでした。教義自 体が問題である以上に、多分、宗教 権力者を真に心配させたのはローマ 帝国の支配に対する扇動を恐れで しょう。それはローマ人が堪えるこ とが出来ない大衆の動乱を引き起こ すのではないか、またその時点で維 持されていた政治的な状況が悪化す るのではないかとの動揺でした。

この様な事態であったので訴訟は ローマの総督であるピラトのところ に上申され、イエスに対する法的な 取り扱いはローマ帝国の権限に委ね られることとなりました。ピラトの 前でもユダヤ人たちはイエスが〈神 の国〉を語ることはローマ帝国に とっても脅威となろうとの恐れが表 明された。ローマの総督は事態に対 処するために二つの方法を考えまし た。その一つはcoertitio懲罰(強制 的なやり方での罰)で、これは公の 秩序を維持するために総督に与えら れていた権限です。その権限の下に 見せしめの刑罰を科することが出 来、それは処罰として死刑も含まれ ていました。もう一つの方法は、 cognitio審問を行うことでした。こ れは正式の訴訟手続きでこれに従う と、告訴状が作成され尋問があり、 そして法律に従って判決が言い渡さ れます。

ピラトはどのように処理するか迷った時がありましたが、最終的には当時のローマの属州に於いて慣行的に行われていた方法に従いました。それはcognitio extra ordinemと呼ばれる審問のことで、これに従うと総督自らが審理の手順を決め自ら判決を下します。この様に、個々の記述の中に反映されている一見偶然に起

こったと思われる事柄の詳細が理解できます。ピラトは告訴状を受け取り、尋問し、そして判決を言い渡すために法廷に座りました(ヨハネ19,13;マタイ27,19)。それから、正式の有罪として十字架上での死刑の判決を下しました。十字架の上に掛けた罪状書きTitulus crucisの中で明らかなように〈ユダヤ人の王〉として処刑されました。

イエスへの死刑判決をめぐる歴史的 な評価については非常に慎重に行う 必要があり、公正さを欠く評価につ ながる性急な一般化を行ってはなり ません。具体的には、イエスの死に 関してユダヤ人全てに責任があるの ではないことは明白ではあります が、この点を強調しておくことは重 要です。「我々の罪がキリスト自身 に届くことを考慮に入れて(参照;マ タイ25.45:使徒言行録9.4-5)、教会は イエスの刑罰における最も重い責任 をキリスト教徒に負わせることに躊

躇しませんが、その責任はあまりにもしばしば公の犯罪の咎をユダヤ人に負わせることになったからです。 (『カトリック教会のカテキズム』 598番)

参考書: Simon LÉGASSE, El proceso de Jesús. La historia (Desclée de Brouwer, Bilbao 1995); Francisco VARO, Rabí Jesús de Nazaret (B.A.C., Madrid, 2005) 186-188.

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-36/(2025/12/14)